

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・観光客の増加だけでなく、地元客向け商品開発が充実してきていることもあり、売上は前年同月比120%を見込める。
	やや良くなる	百貨店（担当者）	・天候が安定し、夏物衣料の販売が順調ならば売上の増加が見込まれる。また6月のサッカーワールドカップなど、消費をけん引する要因があることから、今後更に回復基調は継続する。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・5月の県外からのインターネット予約が前年同月比で150%あり、観光客の入客が期待できる。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・5月、6月とも稼働率は前年並みで推移する見込みで、単価は前年より上昇する。
		住宅販売会社（従業員）	・最近の金融市場報道で、この先の金利上げが確実にあるとの認識をほとんどの客が持っており、マイホーム取得時期を前倒ししてくる。
変わらない	スーパー（経営者）	・競合店との価格競争が一段と激化し、客単価も低下、来客数も減少しており、苦戦を強いられている。今後は競合店の販促状況などにもよるが、このような状況が続く。	
	コンビニ（エリア担当）	・夏場を迎えるがそれは毎年のことであり、暑さが続けば需要も増え自然に売上は増加する。しかし小売業においては、客が娯楽と買物に分かれるといった状況で、ますます分散化と区別化が進み、来客数減少につながる傾向がある。ただし各地域での増減があるだけで、全体としては変わらない。	
	衣料品専門店（経営者）	・この2、3か月、さほど来客数は良くないが、商品の単価が5%～10%ほど上昇している。来客数の伸びに期待する。	
	家電量販店（従業員）	・あまり良い材料が見当たらない。サッカーワールドカップ直前だが、薄型テレビの伸びが今一つである。何か経済の起爆剤がない限り、踊り場の状況は続く。	
	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・売上の大きな落ち込みはないが、観光産業以外で県内の経済の見通しが今一つはっきりしない。夏場の観光客の増加に期待する。	
やや悪くなる 悪くなる	商店街（代表者）	・那覇の中心商店街は観光客が多いが、リピーターが大部分なので販売単価にはなかなか結びつかない。地元客は郊外の大型店に向かうので、商店街は日々、状況が悪化しており今後も危惧される。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・問い合わせ及び引き合い件数が増加している。
		輸送業（営業・運営担当）	・燃料費高騰について、取引先からも少しずつ理解を得られるようになっており、料金への反映も受け入れてくれるようになってきている。これまでは、船舶会社からの改定のみであったのが、陸上輸送の改定も少しずつできてきているので、収支改善が見込まれる。
	変わらない	通信業（営業担当）	・消費者向け光ブロードバンドインターネットサービスは、4月からの新キャンペーン展開で加入者数の伸びが期待されるが、法人向けサービスの引き合いは一進一退である。
	やや悪くなる 悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・自動車メーカーや各業界の業績が非常に良く、今後も伸びる。
		人材派遣会社（経営者）	・徐々に拡大しつつあるが、それでもまだ限られている派遣マーケットに本土系の新たな派遣会社が今月更に進出してきた。派遣市場の拡大以上に競争激化が生じている。また今月複数あった派遣業務の入札は、想像以上の安い単価で決まり、派遣料金の低下も懸念材料である。
	変わらない	職業安定所（職員）	・3月は前年同月と比較すると月間有効求職者は0.3%増加し、新規求職申込件数は3.7%減少、紹介件数は0.2%減少、就職件数は0.9%減少、県外就職者は10.2%減少している。離職者の実態は、事業主都合が23.8%、自己都合44.4%である。今後も求職、求人とも増加傾向で推移していくものと考えられ、6月に大手企業支店の開業予定など改善の動きはあるものの、雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。
学校〔専門学校〕（就職担当）		・求人の前倒し傾向は強く、今後新規の求人が増加しなければ状況は変わらない。	

やや悪くなる	求人情報誌製作会社 (総務担当)	・県内の建築土木業の指名停止と課徴金の問題で、徐々に全体の景気が悪くなる。
悪くなる	-	-